


# 抗癌剤プロトコール届け票

申請日	平成24年1月		
申請者	所属科:外科	医師名	渡辺 康則 印 
抗癌剤プロトコール内容			
略名	mFOLFOX6+ベクティビックス		
適応臓器名	KRAS遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌		
薬剤名	パニツムマブ(遺伝子組換え)製剤(商品名:ベクティビックス®点滴静注100mg) フルオロウラシル注射液(商品名:5-FU注) レボホリナートカルシウム注射剤(1-LV)(商品名:アイソボリン注) オキサリプラチン注射用(商品名:エルプラット注射用)(L-OHP)		
注意点	各薬剤の注意点を遵守すること		
用法・用量・投与スケジュール			
ベクティビックスは2週間に1度で、 FOLFOXレジメンは2週間(14日間)を1コースとして繰り返す。  先にベクティビックス (Infusion reaction 対策のプレメディケーションは原則不要であるが、必要に応じて、塩酸ジフェンヒドラミン50mg経口投与+生食100ml、デカドロン8mg(30分))  1)生食100ml、ベクティビックス6mg/kg(体重)  その後、FOLFOXレジメンとして  2)前投薬:5-HT3受容体拮抗型制吐剤+デカドロン8~20mg  3)L-OHPとして1回85mg/m <sup>2</sup> (体表面積)とI-LVとして200mg/m <sup>2</sup> (体表面積)を別々のバッグに入れて同時に2時間かけて点滴静脈内注射する。  4)その後5-FUとして1回400mg/m <sup>2</sup> (体表面積)を15分以内で急速静注し、  5)5-FUとして1回2400mg/m <sup>2</sup> (体表面積)を46時間かけて持続静注する。			
Evidence	2012年度版NCCNガイドライン 2011年度版大腸癌治療ガイドライン 海外第Ⅲ相試験(PRIME)		
備考	KRAS遺伝子野生型に限り使用すること		
がん化学療法委員会承認日: <b>24.2.20</b>			